

事業所名		こどもくらぶガジュマ〜ル		支援プログラム		作成日	2025 年	2 月	13 日
法人（事業所）理念		『すべての子らを世の光に』を理念に、その子らしい社会生活・地域生活が送ることができる							
支援方針		・ I システム(独自の学習支援プログラム)を使い、学習への習慣化・積み上げをサポートし、小学校低学年から18歳までの一貫した療育支援をします。 ・ 日々の学習だけでなく、体験を通した日々の関わりの中から『社会的マナー』『運動』『屋内外活動』『社会生活技能訓練』『地域交流』など、身近自立に向けた総合的な発達支援を提供します							
営業時間		平日（学校登校日） 12:00 ～20:00 土曜・祝祭日・学校長期休暇 09:00 ～ 17:00 日曜日：定休日		送迎実施の有無		あり なし			
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	○健康状態の維持・改善 ・ 定期的な検温や視診を行い、体調不良時の把握を行う。また、意思表示が難しい子どもの障害特性、発達過程を理解し、小さなサインでも変化に気づいていけるよう支援を行う。 ○生活習慣や生活リズムの形成 ・ 基本的な生活習慣を形成し、健康状態の維持・改善に努め、食を営む力（クッキングや青果物の収穫など）を育む。楽しく食事ができるよう口腔内機能や感覚等に配慮し、姿勢保持や手指の運動機能等の状態に応じた支援を行う。 ○基本的な生活スキルの獲得 ・ 生活に必要な基本的技能を獲得できるよう生活の場面における環境の工夫を行い、生活の中で様々な遊びや体験を通して学びが促進されるように環境を整える。また、障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化する。							
	運動・感覚	○姿勢の保持運動・動作の基本的技能の向上 ・ 日常生活に必要な基本的動作の姿勢保持、運動遊びや個別活動（学習活動）を通して筋力の維持や強化、机上での正しい姿勢の習得を図る。 ○身体の移動能力の向上 ・ 環境から情報を習得しながらそこから必要なメッセージを選択し、行動に繋げるという一連の認知過程の発達を支援する。 ○保有する感覚の活用 ・ 保有する視覚・聴覚・触覚・などの感覚を十分に活用できるよう、遊具や器具などを使った遊びを通して支援を行う。 ・ 縄跳びを使ったタイミングやバランスの感覚ボールを使った体の動かし方や強弱の力感覚、方向感覚の習得。 ○感覚の特性と対応 ・ 子ども自ら感覚特性（過敏や鈍麻）を知ることで日常生活をより快適に過ごせるようにし、偏りに対してサポートツールなどを用いる等、環境調整の支援を行う。							
	認知・行動	○認知の発達と行動の習得 ・ リズム遊び、行動の切り替え、ストップが含まれる遊び感覚を通した得た情報を活用し、認知機能の発達を促す。 ・ 調理活動（クッキング）で、（道具の使い方、計量、材料の変化を通して空間・時間の形成を図ることにより、認知や行動へ繋げられるよう支援する。 ○空間・時間・数等の概念形成の週間 ・ I システムを通して形の大きさ、色の違い等が、認識できるような支援を行う。 ・ 野外活動（公園、イベント）で、周囲の状況から行動に繋げるという一連の認知過程（注意機能、選択的注意・注意の分配・持続）の発達を支援する。 ・ それぞれの専門的視点による評価を行い、集団での敵説行動への対応の支援を行う。 ○対照や外部環境の適切な認知と、環境に合わせた適切な行動の獲得 ・ ソーシャルスキルトレーニングでの取り組みから危険予知訓練の支援を行う。 ・ 認知の特性を踏まえ、特性に配慮しながら、適切な処理ができる様に支援を行う。 ・ 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防、及び適切行動への対応の支援を行う。							
	言語コミュニケーション	○言語の形成と活用 ・ 具体的な事柄や言葉の意味を結びつけることにより、言葉の習得や自発的な発生を促す支援を行う。 ○言語の受容及び表出 ・ 話言葉、文字・記号のカードを用いて、相手の意図を確認したり、自分の考えを伝えることができる様に支援を行う。 ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 ・ ひとりひとりに配慮された場面における人との相互作用を通し、指差し、身振り、サイン等を含め、コミュニケーションの向上を図る。 ○コミュニケーション手段の選択と活用空間・時間 ・ 文字・絵・記号カードを活用し、環境の理解と意思の伝達ができるようにする。							
	人間関係社会性	○情緒の安定・自己の理解と行動の調整 ・ 自身の感情や生理的な状態像に関心を持ち、気持ちのコントロールができるよう自分の行動の特徴を理解することで、安定した情緒のもと生活ができるよう支援する。 ○他者との関わり（人間関係）の形成 ・ 話す・聞く・触れるなどのコミュニケーションを通じて、人との関係を意識し、身近な人と親密な関係を築き、その信頼関係を基盤として、周囲の人と安定した関係を形成するための支援を行う。 ○仲間づくりと集団への参加 ・ レクリエーションを通して集団でのルール等を理解し、周囲との調和を図りながら相互理解や互いの存在を認め合い、仲間づくりに繋がるよう支援する。							
家族支援		・ 家族（兄弟等）からの相談（子育てや進路など）に対して、適切な助言を行う。 ・ 発達状況や特性への理解に向けた相談支援を行う。 ・ 外部講師を招いて保護者研修などを開き、子育て支援の資質向上を目指す。		移行支援		・ 学童や学校、併行利用先等と子どもの状態や支援内容などのすり合わせをしたり情報共有を行いながら連携、支援を行っていく。 ・ ライフスタイルの切り替えを見据え、将来的な意向に向けた話し合いをするなど支援を行っていく。			
地域支援・地域連携		・ 地域行事への参加が図れるよう情報収集を行う ・ 地域での同サービス事業所（相談支援事業所・福祉事業所等）と連携情報共有を積極的に行い、密な連携を図る。 ・ 避難訓練を通して、地域資源の確認及び交流等積極的に参加する。		職員の質の向上		・ 法廷研修、事業所内研修、療育、制度、5領域における勉強会を実施する。 ・ 朝礼・終礼にて情報を共有することにより、職員一人一人の役割を再認識する。			
主な行事等		（年間活動）・宿泊学習（夏休み）・避難訓練 ・クリスマスやハロウィンなどの季節に合わせたイベント ・施設見学や体験 ・クッキング （月ごとの活動）・自然散策 ・運動/レクリエーション ・公園遊び ・四季に合わせた制作活動							